



本館ロビーに設置された七夕飾り

Contents

新理事長就任あいさつ	2	調査研究・事業報告・資料の作成	9
新監事就任あいさつ	3	・「NWEC実践研究」第1号刊行	
事業の予告・募集	3	・「平成22年度女性のエンパワーメント国際フォーラム」報告書刊行	
・男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム (NWECフォーラム)		・「経済的自立につながる女性の課題解決型地域活動に関する調査研究」報告書刊行	
・女性情報アーキビスト養成研修		・「子ども・子育て支援を通じた身近な男女共同参画の推進 —男女共同参画を推進する施設や団体がおこなう子育て支援と地域づくり」刊行	
・女性関連施設相談員研修		・「人身取引(トラフィッキング)問題について知る2011」ホームページで公開	
・NWEC国際シンポジウム		女性アーカイブ	11
・男女共同参画の視点に立った複合的キャリア教育推進研修		・女性アーカイブセンター平成23年度企画展示のご案内	
・大学職員のための男女共同参画推進研修		情報ネットワーク	11
・NWEC男女共同参画プログラム(第1回)		・女性教育情報センター リニューアルオープン	
・男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)		・女性情報ポータル"Winet"リニューアル	
・配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ(内閣府委託事業)		・「国立大学における男女共同参画状況データベース」新規公開	
平成23年度事業計画	6	・展示コーナー	
事業の実施報告	7	お知らせ	12
・平成22年度女性の教育推進セミナーII		・利用案内	
・平成22年度女子学生就活支援セミナー		・主な利用団体	
・平成22年度交流学習会議		・寄附金受け入れの報告・お願い	
・平成23年度家庭教育・次世代育成指導者研修			
・平成23年度女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修			



理事長就任にあたって

独立行政法人 国立女性教育会館
理事長 内海 房子

緑濃い木々に囲まれ、厳しい暑さもふっと和らぐような、ここ嵐山の地に赴任して、早、一週間が過ぎようとしております。

私は、このたび、7月1日付けで理事長に就任いたしました、内海房子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。これまでは、民間のIT企業に40年間勤め、技術開発から人事・人材育成にわたる幅広い業務に携わってまいりました。私が社会人になりました1970年代は、まだ女性の活用とか男女共同参画などはほど遠い職場でしたが、1985年に男女雇用機会均等法が成立し、働く女性の環境が大きく変化したと言ってもよいと思います。私の進路にも光が見えてまいりました。ようやく課長、部長に昇進することができて、組織の管理職を経験しました。また、子会社の役員や社長として会社経営にも携わることができ、リーダーシップやマネジメントに力を発揮してきたところでございます。

さて、そのような私が、独立行政法人国立女性教育会館の業務運営を引っ張っていく立場に立ったわけですが、これは、私がこれまで歩んできた環境や組織とは多少異なるように感じております。ただ、女性がもっと社会で活躍できるようになるにはどうしたらよいかとか、女性の力を伸ばし、職場で活かされるにはどうしたらよいかということは、私が長年、追い求めてきたことです。そして、これまでの職業人生の中で、女性たちの資質・能力の高さ、行動力や発想の豊かな

ど、女性の素晴らしさをまさに実体験しておりますので、その経験を活かして会館の業務運営に携わっていきたいと思っております。

理事長の職を拝命してまだ数日ですが、各方面の方々にごあいさつ回りをしておりますと、みなさまの会館に対する熱い思い、高い評価、そしてさらなる期待の大きさがひしひしと伝わってまいりました。これまでの諸先輩方のご功績に強く感銘を受けるとともに、会館のリーダーとしての責任の重さに身が引き締まる思いでございます。神田前理事長からバトンを渡された次のランナーとして、男女共同参画社会の実現を目指し精一杯努力して参る所存でございます。何卒、ご支援、ご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

内海理事長プロフィール

1971年津田塾大学卒業後、NEC入社。2001年にNECソフト株式会社取締役、人事担当執行役員、2005年にNECラーニング株式会社社長。2011年7月から現職。著書に「私は、人事課長一年生」(日経連広報部、1990年)「もっと素敵にワーキングライフ」(大和出版、1992年)がある。

「NEXTの時代」へ。

監事 山田 美代子 (公認会計士)

平成23年4月1日付で監事に任命していただきました山田美代子と申します。皆様にご指導を受けながら、私の経験も生かせるように監事の役割を果たすべきと考えておりますので何卒宜しくお願いいたします。先日、トニー賞にもノミネートされた「太平洋序曲」をKAAT 神奈川芸術劇場で観劇してきました。ペリー来航時の幕末から開国に至る日本の様々な地位や人物を描き、最後の曲「NEXT」の歌とダンス。経済成長も鈍化した日本の現況で大きな震災も起こり、私たちは今後を不安に感じながら生きています。しかし、幕末の時代にも質は違っても「不安」を持ちつつ過ぎた後に、成長した日本の今があります。現在は、国の財布だけでなく、家庭の財布も寂しい経済の厳しさや少子化の問題等々もあり、男女共同参画は「望み」でなく「必需」の時代に向かっていくように思えます。今を築いてくれた日本の過去がありますから、今の日本に生きる私たちも新たな「NEXTの時代」へ向かって生き抜いていけるはずです。もちろん「ヌエック」もそんな時代だからこそその役割を果たしていけるように「NEXT」へ皆様とご一緒に進むのみです。



監事就任にあたって

監事 広岡 守穂
(中央大学法学部教授)

みなさん、こんにちは。

広岡守穂です。こんど監事になりました。

わたしはエンパワーメントのための生涯学習がたいへん重要だと思っています。

生きていくうえで、課題を解決する能力を身につける学びです。そして学びから活動へ踏み出して行く。ヌエックは、そういう学びのための拠点だと考えています。今年60歳になります。最近、趣味で詩を書いたり小説を書いたりしています。昨年は小さな詩集まで出していました。タイトルは『はじめて』。文学は子どものころから好きだったのですが、これまで実際に創作することはありませんでした。還暦近くになって、子どものころの思いに帰る。

音楽の世界では中年の「おやじバンド」が増えていますが、その人たちと同じ気持ちです。以上、恥ずかしながら、わたしの生涯学習でした。よろしく願います。

事業予告・募集

「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム (NWEC フォーラム) ～男女共同参画社会の展望—新たなコミュニティ創出のための関係づくり～」

平成23年10月21日(金)～23日(日)

男女共同参画社会の形成をめざした研究、教育、学習、実践活動を行っている個人、団体・グループの相互交流とネットワークづくりを推進するために、「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム (NWEC フォーラム)」を以下の通り実施します。 (当初、平成23年度事業計画にて8月開催の旨をお知らせしておりましたが、上記日程に変更いたしました)

会場 国立女性教育会館

- 主な内容**
- シンポジウム「災害・震災復興と地域づくり—男女共同参画社会への展望」
 - ワークショップ *「第3次男女共同参画基本計画」を参考に設定したテーマに基づき、全国から募集した団体や会館が提供するワークショップを実施します。
 - 情報交換、交流の場の設置等の交流推進プログラム

対象 女性団体等のリーダー、研究者、男女共同参画・女性教育・家庭教育等の行政担当者、女性関連施設職員、NPO、学生等

申込み 参加者募集を9月上旬より行う予定です

問い合わせ先 事業課 TEL: 0493-62-6724

詳細は、会館ホームページ (<http://www.nwec.jp/jp/>) をご覧ください。

女性情報アーキビスト養成研修(入門) (旧・女性情報アーキビスト入門講座)

平成23年12月1日(木)～2日(金)

本研修では、アーカイブ資料の具体的な保存技術や整理方法を体系的に学ぶ最初の一步として、実務に役立つ基礎情報を提供します。また、関係者相互に情報交換を行い、ネットワークづくりを進めます。

会場 国立女性教育会館

問い合わせ先 情報課 TEL: 0493-62-6727

対象 女性史関係者、女性関連施設職員、図書館職員、
女性史やアーカイブの保存・整理に関心をお持ちの方など 30名

詳細は、会館ホームページ
<http://www.nwec.jp/jp/archive/>
をご覧ください。

女性関連施設相談員研修

平成23年10月12日(水)～14日(金)

現在、配偶者からの暴力被害や児童虐待等、女性関連施設の相談件数が増加しています。このためNWECでは、配偶者からの暴力、児童虐待、関連機関との連携等の解決に必要な知識の習得・相談技能の向上を内容とする、専門的・実践的研修を行います。昨年も受講者から大変好評をいただいている研修会です。

会場 国立女性教育会館

問い合わせ先 事業課 TEL: 0493-62-6724

対象 公私立の女性会館・女性センター等の女性関連施設において、女性の悩みに関する相談業務に携わっている相談員(経験を問いません)

「NWEC国際シンポジウム～災害復興とジェンダー～」

平成23年10月29日(土)

「災害復興とジェンダー」をテーマに、海外から専門家を招へいして行う「NWEC国際シンポジウム」の参加者を募集します。本シンポジウムでは、前千葉県知事 堂本暁子氏による基調講演のほか、シンポジウムに先立って行われる「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」の研修生による研修成果の発表も行います。

日時 平成23年10月29日(土)
午後1時から午後5時30分(予定)

申込方法 10月25日(火)までに下記の方法でお申込ください。
詳細は、8月中旬以降、会館ホームページに掲載予定です。

対象 テーマに関心のある方 100名(先着順)

使用言語 日本語・英語(通訳付)

参加費 無料

会場 独立行政法人 国際協力機構 JICA 研究所 2F
国際会議場
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5
JR・都営地下鉄・東京メトロ「市ヶ谷」駅より徒歩10分

スピーカー 堂本 暁子
(女性と健康ネットワーク代表・前千葉県知事)ほか

問い合わせ先 研究国際室 TEL: 0493-62-6479・6437

ア. 電子メール
下記必要事項を入力のうち、
rese2@nwec.jp までお申し込みください。
メールタイトルは
「平成23年度NWEC国際シンポジウム参加希望」としてください。

イ. ファックス
ホームページ(<http://www.nwec.jp/>)から
申込用紙をダウンロードのうえ、
1) 氏名・ふりがな、2) 郵便番号・住所、
3) 電話番号、4) ファックス番号、
5) メールアドレス、6) 所属先 を記入し、
研究国際室 FAX: 0493-62-9034 までお送りください。

「男女共同参画の視点に立った複合的キャリア教育推進研修」

平成23年11月16日(水)～18日(金)

この研修では、急速な社会の変化により多様化・複雑化していく個人のキャリアを男女共同参画の視点から社会と結びつけ、長期的な視野に立ったキャリア形成支援に資するために、NWECのこれまでの調査研究や実践で明らかになりつつある「複合キャリア」の概念やキャリア形成支援の今後の方向性について専門的・実践的に学びます。

さらに参加者が研修の成果をそれぞれの組織・地域に持ち帰り、さらなる事業や活動に活かすというサイクルに結びつくことをねらいとしています。プログラムの詳細は、9月以降ホームページでご案内いたします。

<http://www.nwec.jp/jp/program/invite/2011/page08.html>

会場 国立女性教育会館

問い合わせ先 事業課 TEL: 0493-62-6724・6725

対象 女性関連施設・社会教育施設等の職員
団体・グループ・NPO等のメンバー
大学等のキャリア教育担当教職員等 80名

大学職員のための男女共同参画推進研修

平成23年12月8日(木)～9日(金)

近年、大学は社会人・職業人として自立できる人材を育成し、社会に送り出す役割を担っているだけでなく、地域の知の拠点としても重要な役割を担っています。このように、社会・地域に大きな影響を与える大学においては男女共同参画が推進されることが望まれます。現在、各大学では男女共同参画室等の設置が進んでおりますが、大学全体で組織的に男女共同参画の推進に取り組んでいる大学は多くはありません。そこで、本研修では、男女共同参画意識を学内に浸透させるために、大学における意思決定組織に所属する教職員対象に研修を行います。

会場 国立女性教育会館

対象 大学における意思決定組織に所属する教職員等 80名

問い合わせ先 事業課 TEL：0493-62-6724

NWEC男女共同参画プログラム(第1回)

平成23年9月16日(金)～17日(土)

「女子栄養大学連携事業：健康寿命をのばしてハッピーエイジングー栄養編ー」

NWEC男女共同参画プログラム第1回は、協定を結んでいる女子栄養大学との連携により実施します。本プログラムは平成22年度実施予定のところ、東日本大震災により開催を中止しましたが、改めて平成23年度第1回目のプログラムとして開催させていただくものです。

内容は平成22年の運動編に引き続き、『健康寿命』をテーマに、毎日の習慣に取り入れて実践できる、高齢になっても自立した生活を過ごすための栄養学について学びます。

女子栄養大学の教授陣が担当する栄養に関する講義や実習のほか、女子栄養大学が経営する松柏軒の特製弁当を味わう交流昼食会、コンサート、アロマ・リラクゼーションなども予定しております。

詳細については会館ホームページ、または事業課までお問い合わせください。

会場 国立女性教育会館

対象 テーマに関心のある男女 50名（全日程参加者を優先）

参加費 7,000円

問い合わせ先 事業課 TEL：0493-62-6725

会館ホームページ：http://www.nwec.jp/program/point/2011/page02i.html

男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)

平成23年11月8日(火)～11日(金)

男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)では、NWEC主催のプログラムに加え、全国の地方自治体・女性関連施設・団体・グループ等が企画する男女共同参画に関する講演、講義、会館の施設見学や事業等に関する情報提供等を行うとともに、参加者同士の相互交流や情報交換を行える機会を提供します。

期間中はどなたでもお好きなプログラムにご参加いただけます(要事前申込)。また、御参加いただいた団体・グループについては、研修室は無料、宿泊はお一人様1泊1,000円にてご利用いただけます。

是非とも、活動内容の発表や研修の機会として御活用ください。

詳細については、現在検討中です。決まり次第ホームページ(<http://www.nwec.jp/>)等でご案内いたします。

参考：平成22年度の実施内容

- ①自由交流：参加団体・グループ同士の交流。(期間中19:00～21:00に実施)。
- ②講演：「おいしく食べて健康長寿」「私の老い構え」「源氏物語における人間関係」「子ども大人も育ちあう子育て・子育てのコミュニティ」
- ③講義：「女性情報を活用する」国立女性教育会館職員による講義(90分)。
- ④文化プログラム：万葉植物を使った作品づくり・館内散策ほか。

会場 国立女性教育会館

問い合わせ先 事業課 TEL：0493-62-6725

配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ(内閣府委託事業)

この研修では、地域・組織で相談員として中心的役割を担い、経験の浅い相談員へ日常的に助言等を提供できる相談員を育成することで、配偶者からの暴力被害者への相談体制を強化し、相談の質の向上を図ることを目的としています。

一定の経験を積んだ、官民支援機関の中堅相談員を対象に、講義やワークショップを行い、相談業務の質の向上を図ります。

対象 一定の経験を積んだ、官民支援機関の中堅相談員

日程及び会場(定員)

・平成23年10月初旬(2日間)	福岡県内女性センター	50名
・平成23年10月12日(水)・13日(木)	国立女性教育会館	120名
・平成23年11月1日(火)・2日(水)	大阪府立男女共同参画・青少年センター	100名

問い合わせ先 事業課 TEL:0493-62-6724

平成
23
年度

独立行政法人

国立女性教育会館 事業計画

「事業の予告・募集」と「事業の実施報告」を紹介した事業は省略しております。

基幹的な男女共同参画及び女性教育指導者等の 資質・能力の向上

女性関連施設に関する調査研究

女性教育・生涯学習分野の研究者、女性関連施設関係者、女性団体リーダー等

女性関連施設の機能の充実・強化を図るため、指定管理、人材育成等新たな課題の実態把握と分析をテーマに5年計画で行う調査研究の1年次として、女性関連施設の指定管理に関する実態調査を実施し、報告書を作成する。

男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する 喫緊の課題に係る学習プログラム等の開発・普及

地域課題の解決と女性の経済的自立に関する 調査研究及びプログラム開発

女性教育・社会教育分野の研究者、行政関係者、女性関連施設、団体等

地域活動による経済的自立の促進をテーマに2年計画で行う調査研究の1年次として、コミュニティ・ビジネスの先進事例及び先駆的プログラムを実施している海外の研修事例についての調査を行い、研修資料を作成する。

男性の家庭・地域への参画を促進するための 調査研究及びプログラム開発

女性教育・家庭教育・社会教育分野の研究者、行政関係者、女性関連施設、団体等

男性の家庭・地域への参画促進をテーマに2年計画で行う調査研究の1年次として、女性関連施設が行っている取組や工夫、地域参画活動を行っている男性の意識や活動についての調査を行い、調査結果について報告書を作成する。

男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する 調査研究の成果や資料・情報の提供等

男女共同参画統計に関する調査研究

女性学、ジェンダー研究、統計学分野の研究者等

『男女共同参画統計データブック2009』の内容を見直し、データを更新するとともに、新たな課題に対応するデータを収集、分析し、『男女共同参画統計データブック2012』を作成する。

男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する 国内の関係機関・団体等との連携協力の推進

交流学习会議

地域における男女共同参画を推進するため、会館の研修・交流事業に参加した者が地域に戻って実践したことを報告し合い学習する機会を設定し、各地の先進事例や地域における課題等を共有するとともに、女性関連施設等の関連機関や女性・グループ等の連携・協働の促進に向けての意見交換を行い、ネットワークを形成し、会館と地域との連携を促進する。

対象・募集人員 150名

会館の研修・交流事業参加者のうち地域でネットワークを構築している女性団体・グループのリーダー、男女共同参画・女性行政担当者、女性関連施設関係者等

期間 平成24年3月9日(金)～11日(日) ★2泊3日

男女共同参画及び女性教育に関する国際貢献、 連携協力の推進

アジア太平洋地域における

男女共同参画推進官・リーダーセミナー

開発途上国等において男女共同参画の政策策定ならびに政策提言を行う立場にある女性行政・教育担当者、NGOのリーダーを対象に、女性の能力開発に係る喫緊の課題をテーマとした、参加型の実践的なセミナーを行う。

対象・募集人員 12名程度

行政担当者・NGOの指導者

期間 平成23年10月19日(水)～30日(日) ★11泊12日

外国人女性の困難等への支援に関する調査研究

女性教育・社会教育、社会政策、国際協力等を専門とする研究者・行政関係者、実務家・NGO等

外国人女性の抱える困難等の実態と課題解決に向けた教育・啓発をテーマに3年計画で行う調査研究の1年次として、外国人女性の抱える困難等の実態と課題解決に向けた啓発活動に関する基礎的調査を行う。

平成22年度「女性の教育推進セミナーII」

平成23年1月25日(月)～2月10日(水)

このセミナーは、国立女性教育会館が国際協力機構(JICA)から委託を受け、アジア、アフリカ、中近東等の開発途上国の行政官を対象に、基礎教育の男女格差解消を視野に入れた教育推進プログラム計画の立案能力向上を目的として、平成13年度から継続して実施しているものです。本年度は、マラウイから2名、アフガニスタン、カメルーン、ガンビア、ラオス、マーシャル、マリ、ニカラグア、ジンバブエから各1名、計10名の研修生を迎えました。

研修生はJICAにおけるジェンダー主流化についての説明を受け、内閣府男女共同参画局と文部科学省の担当者より日本の男女共同参画政策と、教育行政に関する講義を受講しました。また、会館職員も日本における女子教育の推進の歴史や女性情報の発信、統計を活用した教育の国際比較に関する講義を行いました。

2週目には広島県を訪問し、原爆ドームや広島平和記念資料館の視察、広島市内のNPO法人の事務所を訪問し、平和教育のワークショップに参加しました。広島市女性教育センターでは、女性の生涯学習の拠点としての同センターの役割について学んだほか、地域の女性リーダーと女性の社会参画について意見を交わしました。研修生一行は、都

内で開催された「第8回国際教育協力日本フォーラム」にも出席し、アフリカやアジアのコミュニティスクールに関する最新の動向についての知見を深めました。

翌週、研修生一行はさいたま市立与野南中学校を訪問しました。与野南中学校では家庭科の男女共修授業や外国人英語指導員(AET)による英会話の授業を参観するとともに、中学二年生のホームルームにも参加して、生徒・教職員との交流を深めました。



▲開講式

平成22年度「女子学生就活支援セミナー」

平成23年3月3日(木)～4日(金)

国立女性教育会館は、本セミナーを実施し、大学教職員65名が参加しました。

始めに文部科学省高等教育局から「大学のキャリア教育・就活支援の施策・動向」の説明があり、最新の生情報を得、参加者が各々の立ち位置を理解しました。続いての講義「切れ目のない就業支援とは」では、厳しい雇用情勢の中での大学の就職支援担当が考えたいこと、女子学生のライフプランニング支援、女子学生が育てるべき力等を学びました。その後、4つの先進的な事例報告から実態・課題を把握・分析しました。交流を目的とした情報交換会では、多くの方々とふれあい、情報を交換・共有しました。

2日目は、「不況期における企業の求める人材と人材育成」と題して企業から見た学生の基礎的課題について体験等をもとに、人事担当者を中心にパネルディスカッションを行いました。その後、3つの分科会に分かれ、それぞれの分科会で「低学年次からの切れ目のない支援プログラム」「学生の就業意識を高め、質的向上を図る切れ目のない支

援プログラム」「教職員、企業、卒業生との切れ目のない連携プログラム」を作成しました。

参加者からは「それぞれの講義のつながりがあり、切れ目なく学び考えることができた」「多くの事例発表、交流から有効な情報が得られたこと、全国から集うなど出席者のバリエーションがあり非常に満足した」等の感想が寄せられました。



▲パネルディスカッション

平成22年度「交流学習会議」

平成23年3月11日(金)～13日(日)

2泊3日の日程で、全国各地から、これまで会館の主催する研修・交流事業に参加し、その後地域で実践活動を行っている団体・グループのメンバー、男女共同参画行政・女性教育行政担当者、女性関連施設職員等157名の参加を得て開催しました。

この事業は、地域づくりを推進する人材育成、会館の研修・交流事業の成果の普及、会館と地域のネットワークづくりの推進を目的としています。テーマは、「協働・連携により地域で男女共同参画を推進するー地域を活性化社会活動キャリア」としました。

堂本暁子前千葉県知事による特別講演「女性のネットワークと男女共同参画」、神田理事長による講義、会館の調査研究の報告のほか、分科会では「協働・連携による団体・グループ活動の活性化」「行政や多様な機関との協働・連携によるDV被害者への支援活動」「コミュニティ・ビジネスによる地域課題の解決」「学校・地域との協働・連携による地域づくり」について、先進的な7つの実践活動事例を取り上げ、参加者それぞれが実践活動を

持ち寄って意見交換・情報交換を行い、地域課題の解決の方向性を探り、地域活動を活発化するためのヒントを学びました。

初日には、東日本大震災が起りましたが、予定どおり2泊3日の会議を実施しました。



▲講演を行う堂本前千葉県知事

平成23年度「家庭教育・次世代育成指導者研修」

平成23年5月13日(金)～14日(土)

1泊2日の日程で、平成23年度「家庭教育・次世代育成指導者研修」を実施し、全国各地から113名の方々が参加しました。

今年度は、「家庭と地域でいなる子育て・子育て」をテーマに、男性の家庭・地域への参画や子育て中の家庭を支える地域の様々なつながりなど、家庭と地域で子育て・子育てをいなる上での課題を、文部科学省、内閣府、厚生労働省による国の施策、動向の説明、講義、パネルディスカッション、分科会などを通して検討しました。特に、パネルディスカッション「子育てから考える男性の家庭、地域への参画」では、父親支援のNPO、企業のCSR(社会的責任)として子育て支援団体と連携して、地域の子育て支援に取り組む企業、女性関連施設などと協働して祖父母や父親向けの孫育てや子育て講座を実施するNPOの方々に、パネリストとしてご登壇いただきました。フロアの参加者の方々からも活発に質問が寄せられ、充実したパネルディスカッションとなりました。

宿泊研修の利点をいかした夜の情報交換会は、全国の家庭教育・次世代育成支援・子育て支援関係の行政

担当者、子育て支援に携わる団体のリーダー、企業の次世代育成支援担当者、女性関連施設職員・社会教育施設職員等、地域社会で子育て支援の核となる方々が一堂に会し、情報交換や交流を深める貴重な機会となりました。



▲パネルディスカッション
「子育てから考える男性の家庭、地域への参画」

平成23年度「女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修」

平成23年6月20日(月)～22日(水)

女性関連施設管理職、地方公共団体の男女共同参画行政担当者、女性団体リーダーを対象に実施的研修を実施しました(女性関連施設管理職コースは全国女性会館協議会との共催)。今年度は全国から130名の参加者を得て、地域の男女共同参画を積極的に推進するリーダーとして必要な知識、マネジメント能力、ネットワーク力を身につけるための専門的・実践的な研修を行いました。

各プログラムにおいては、研修の成果を各自が地域に持ち帰って実践し、振り返り、更なる活動等へ生かすというサイクルを考えた内容が設定されており、事例報告者や参加者の経験を元に、活発な意見交換が行われました。

参加者からは「基本を学ぶと同時に新しい視点を取り込んだ」「最新の情報の収集、全国各施設の現状や取組等を知ること

ができ大変参考になった」「組織の問題や自己評価の課題についてヒントを得ることができた」等の感想が寄せられました。



調査研究・事業報告・資料の作成

「N W E C 実践研究」第1号刊行



平成22年度、新たな研究誌として『N W E C 実践研究』を刊行しました。

会館創設から20年目にあたる1997年に20周年記念として創刊された「研究紀要」に始まり、2006年には「研究ジャーナル」と名称が変わりますが、年1回の刊行を続け14号を数えました。研究ジャーナルは残念ながら平成22年3月で休刊となりましたが、その延長線上にあるのが『N W E C 実践研究』です。

本誌は、研究ジャーナルとはいささか性格を異にしますが、会館事業の成果を広くお知らせし、男女共同参画の視点に立つ実践研究を進めることを目的にまとめております。

第1号は、会館では男女共同参画社会の形成を進めるためには、女性の人材育成が不可欠であることから「女性人材育成」をテーマとし、静岡・北九州の実践報告と地婦連の取組みや会館の研究等を掲載しております。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.nwec.jp/jp/publish/record/page01.html>

「平成22年度女性のエンパワメント国際フォーラム」報告書刊行



平成22年10月9日(土)に実施した「女性のエンパワメント国際フォーラム」の抄録及び「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワメントセミナー」の成果をまとめた報告書を刊行しました。

平成22年度は国際フォーラムのテーマを「女性リーダーの育成に果たす教育の役割」とし、女性がリーダーシップを発揮して、地域社会等で中核的な役割を果たすためには、学校教育のみならず生涯にわたる学習が必要であると捉え、この観点から議論を喚起すべく、国内外から専門家の方々を基調講演者やパネリストとして招へい致しました。

報告書の第Ⅰ部には、カンボジア王国女性省イン・カンタ・パビー大臣及び上智大学名誉教授・国連婦人の地位委員会日本代表目黒依子氏による基調講演の全文を、また、第Ⅱ部では「国際フォーラム」に先だって会館が実施した「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワメントセミナー」の研修生(14名11か国)を含めた各国の専門家による、女性のエンパワメントとリーダーシップに育成に向けた生涯教育の貢献をテーマとしたパネルディスカッションの抄録を掲載しています。

報告書はホームページよりダウンロードできます。

<http://www.nwec.jp/jp/publish/report/page34.html>

「経済的自立につながる女性の課題解決型地域活動に関する調査研究」刊行



平成22年度「経済的自立につながる女性の課題解決型地域活動に関する調査研究」の報告書を刊行しました。

地域の課題解決のための活動に参加する女性の経済的自立についての現状と課題を分析・検討することを目的とした調査研究の結果をまとめたものです。

本調査研究は、地域活動を担う女性の経済的自立には、所属する組織の経済的基盤が重要であり、組織・団体の運営状況を明らかにする必要がある。そして、そこで働く女性たちの実態、意識を明らかにすることが不可欠であると考え、NPO法人などの地域活動・社会活動を行う団体、その延長線上にある会社形態の団体などを対象にした団体・会社調査とそこで働く女性を対象にした個人調査という2つのアンケート調査を実施し、報告書には結果もあわせて掲載しています。

報告書はホームページよりダウンロードできます。

<http://www.nwec.jp/jp/publish/report/page33.html>

「子ども・子育て支援を通じた身近な男女共同参画の推進—男女共同参画を推進する施設や団体がおこなう子育て支援と地域づくり」刊行



平成22年度「男女共同参画の視点に立った地域全体で取り組む次世代育成支援事業に関する調査研究」の報告書として、「子ども・子育て支援を通じた身近な男女共同参画の推進—男女共同参画を推進する施設や団体がおこなう子育て支援と地域づくり」を刊行しました。

次世代育成支援を通じて地域の身近な男女共同参画を推進していくため、子ども・子育て支援の地域コミュニティづくりと男女共同参画の視点をむすびつけ、子育て支援団体等と女性関連施設や女性団体の連携・協働や、ネットワーク形成の方策について検討した調査研究の結果をまとめたものです。

報告書はホームページよりダウンロードできます。

<http://www.nwec.jp/jp/publish/report/page32.html>

「人身取引(トラフィッキング)問題について知る 2011」ホームページで公開



人身取引に関する参考資料として平成20年に作成した「人身取引(トラフィッキング)問題について知る」の内容を一部改訂及びデータ更新しました。より広く普及啓発活動に活用していただくためにホームページにて公開しています。人身取引の問題は、売買春、暴力、移住労働、女性のエンパワーメント、人権、差別、開発など、さまざまな要素が複合的にからみあっています。

まずは人身取引問題をより多くの人に知ってもらい、理解してもらうことから始めていくために、学習プログラムの企画・学習や授業・講義の参考資料として、人身取引問題に関する貸出パネル等と一緒に活用ください。

参考資料はホームページよりダウンロードできます。

<http://www.nwec.jp/jp/publish/report/page35.html>

女性アーカイブ

女性アーカイブセンター平成23年度企画展示のご案内

国連が定めた世界化学年の本年は、企画展示「化学と歩む～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」を開催します。

ノーベル化学賞を受賞した女性たちのキャリア形成や、近代から現代までの日本の化学研究の歩みと女性たちとの関わりについて紹介します。

開催期間 平成23年8月29日(月)～11月6日(日)

会場 国立女性教育会館
本館1階女性アーカイブセンター展示室

詳細は、会館ホームページをご覧ください。
<http://www.nwec.jp/jp/archive/>

情報ネットワーク

女性教育情報センター リニューアルオープン

平成23年4月、本館2階にある女性教育情報センターは、すべての書架を免震書架に入れ替え、情報センター前に学習スペースを設けるなど、新しいサービスを目指して、リニュー

アルオープンいたしました。ご利用をお待ちしております。

なお、書架の増設に伴い、閲覧個室はなくなりました。どうぞご了承ください。

女性情報ポータル "Winet" リニューアル公開

平成23年4月、「女性情報ポータル "Winet" (Women's information network, ウィネット)」を「NWECの情報を、ユーザにもっと届きやすくすること」を目指してリニューアル公開しました。

リニューアルにより1)日々の情報更新が見える、2)NWECの情報事業の動きが見える、3)NWECが提供する情報が見える、4)おすすめコンテンツが見えるようになりました。

女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会の形成を目指した情報の総合窓口である女性情報ポータル "Winet" をぜひ活用ください。

<http://winet.nwec.jp/>



「国立大学における男女共同参画状況データベース」新規公開

このデータベースは、社団法人国立大学協会教育・研究委員会男女共同参画小委員会『国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第7回追跡調査報告書』と、国立女性教育会館調査により作成しました。

対象は平成22年5月1日現在設置の86国立大学で、教員の男女別データ、保育施設・設備、男女共同参画室等の状況を主なデータとして提供しています。

<http://winet.nwec.jp/NU-danjo/>

資料展示コーナー<1階エントランスホール>

4～6月テーマ 「災害と女性」

3月11日(金)に起こった東日本大震災は、大変な被害をもたらしました。災害には性別に配慮した避難所の設計、女性に配慮した物資の備蓄、乳幼児をかかえた母親に対する子育て支援など女性の視点が必要という指摘がこれまでの経験からなされています。災害と女性について考えるときに役立つ資料を展示しました。

*展示資料例

『「忘れない。」女たちの震災復興』、『被災地における性暴力：防止と対応のためのマニュアル』、『災害時における女性のニーズ調査：なぜ防災・災害復興対策に女性の視点が必要か』

7～9月テーマ 「進めよう、男女共同参画」

平成22年12月に第3次男女共同参画基本計画が策定されました。「貧困など生活上の困難に直面する男女への支援」など新たな重点分野が設定され、実効性のあるアクションプランとするために「成果目標」が設定されています。あらためて日本における男女共同参画の現状と、今後取り組むべき課題について考える上で参考となる資料を展示中です。是非ご覧ください。

*展示資料例

『第3次男女共同参画基本計画』、『第3次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方(答申)』、『政策評価から見る男女共同参画基本計画の実効性』

※展示のリストはホームページに掲載しています。

<http://www.nwec.jp/jp/center/page05.html>

利用案内

夜間の研修室利用が快適になりました

平成23年3月より研修棟が個別空調になり、夜間利用時も各研修室で冷暖房が可能となりました。研修の有効利用には是非ご活用ください。

節電のお願い

平成23年3月に発生しました東日本大震災の影響により、会館内の照明・冷房等を一部制限しております。利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

臨時休館日のお知らせ

夏期の節電対策として、次の期間を臨時休館とすることとしました。なお、既にご予約いただいている団体様はご利用いただけます。

8月10日(水)～13日(土)、8月25日(木)～28日(日)

料金改定について

平成24年3月ご利用分より、目的利用①の宿泊研修施設の利用料金を一律200円値上げし、2,200円～2,600円に改定します。なお、目的利用②・一般利用の宿泊研修施設及び研修施設の使用料金は変更ありません。お申込みの際は、必ず施設利用料金をご確認くださいませようお願いします。

また、目的利用の区分については、申込書・概要等により会館にて審査をさせていただきます。

詳細については、予約係までお問い合わせください。

国立女性教育会館 予約係
 申込専用電話：0493-62-6723
 ファックス：0493-62-4399
 ホームページ：http://www.nwec.jp/
 E-mail：yoyaku@nwec.jp(予約専用)

平成24年3月ご利用分からの料金改定

宿泊施設(1人当たり)	目的利用①使用料金
洋室：シングル(バス・トイレ付)	2,600円
洋室：ツイン(バス・トイレ付)	2,400円
洋室：ツイン(トイレ付)	2,200円
和室：2人用(バス・トイレ付)	2,400円
和室：4～5人用(トイレ付)	2,200円

※休館日(平成23年8月～24年3月)

平成23年

8月10日(水)～13日(土)、25日(木)～28日(日)
 9月26日(月)／10月3日(月)・17日(月)／11月7日(月)・21日(月)
 12月5日(月)・19日(月)／12月26日(月)～平成24年1月5日(木)

平成24年

1月16日(月)、22日(日)～27日(金)／
 2月6日(月)、20日(月)～24日(金)／3月5日(月)

※臨時に休館させて頂くことがありますので、
 会館ホームページ等でご確認ください。

主な利用団体(平成23年3月～5月)

WELL女性言語教育学会

大宮歯科衛生士専門学校

前橋工科大学生命情報学科

JA埼玉県中央会

(財)埼玉県体育協会

国際学院埼玉短期大学

川越友の会

全埼玉私立幼稚園連合会

(社)国際女性教育振興会埼玉県支部

埼玉県私立幼稚園連合会

埼玉県立滑川総合高等学校

大妻嵐山中学・高等学校

埼玉県立嵐山史跡の博物館

新潟大学陸上競技部

世田谷中央看護高等専修学校

お茶の水女子大学

星美学園高等学校

内閣府男女共同参画局

源リウ会

川口市立看護専門学校第一看護学科

富士重工業健康保険組合太田高等看護学院

群馬県立太田女子高等学校

特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ

日本アグロー

松戸市武術太極拳連盟

鴻巣市田間宮地区民生児童委員協議会

明第1地区社会福祉協議会

埼玉県教育局西部教育事務所

寄附金等受け入れの報告

団体や個人の方々から寄附金をいただきました。

(敬称略・順不同)

団体 WIDグループ

プロジェクトパッチワーク

個人 神田道子

荻村しをり・長谷川輝美

寄附金のお願い

ヌエックではより充実した業務遂行の経費に充てるため、寄附金を含む外部資金を受け入れております。今後とも事業の充実、運営の改善及びサービスの向上に努めてまいります。皆様方の温かいご篤志を賜りますよう、よろしくお願い致します。

○寄附金に対する問合せは総務課へ

一定の金額までの寄附金については、法人及び個人の場合ともに税法の規定により所得から控除されます。

編集後記

- 7月より新理事長が着任いたしました。新理事長の下、職員一同、今後とも職務に励んでいきますのでよろしくお願いたします。
- ヌエックボランティアの方々のご協力でNWECロビーにきれいに七夕を飾りました。
- 今年の夏も猛暑が続きます。節電のため、職場でも自宅でも冷房を控えクールビズにつとめていますが、皆様も体調を崩さないよう十分お気をつけください。

ヌエックニュース第128号

平成23年7月25日発行

編集・発行 独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

(事業課) TEL. 0493-62-6725 (研究国際室) TEL. 0493-62-6479

FAX. 0493-62-6720 FAX. 0493-62-9034

(情報課) TEL. 0493-62-6727 (総務課) TEL. 0493-62-6714

FAX. 0493-62-6721 FAX. 0493-62-6722

ホームページ：http://www.nwec.jp/

E-mail：webmaster@nwec.jp